



ツルテックスに就いて

東北テックス株式会社

現在我が国で製造されて居ります繊維板には硬質、半硬質及び軟質の三種類があります。

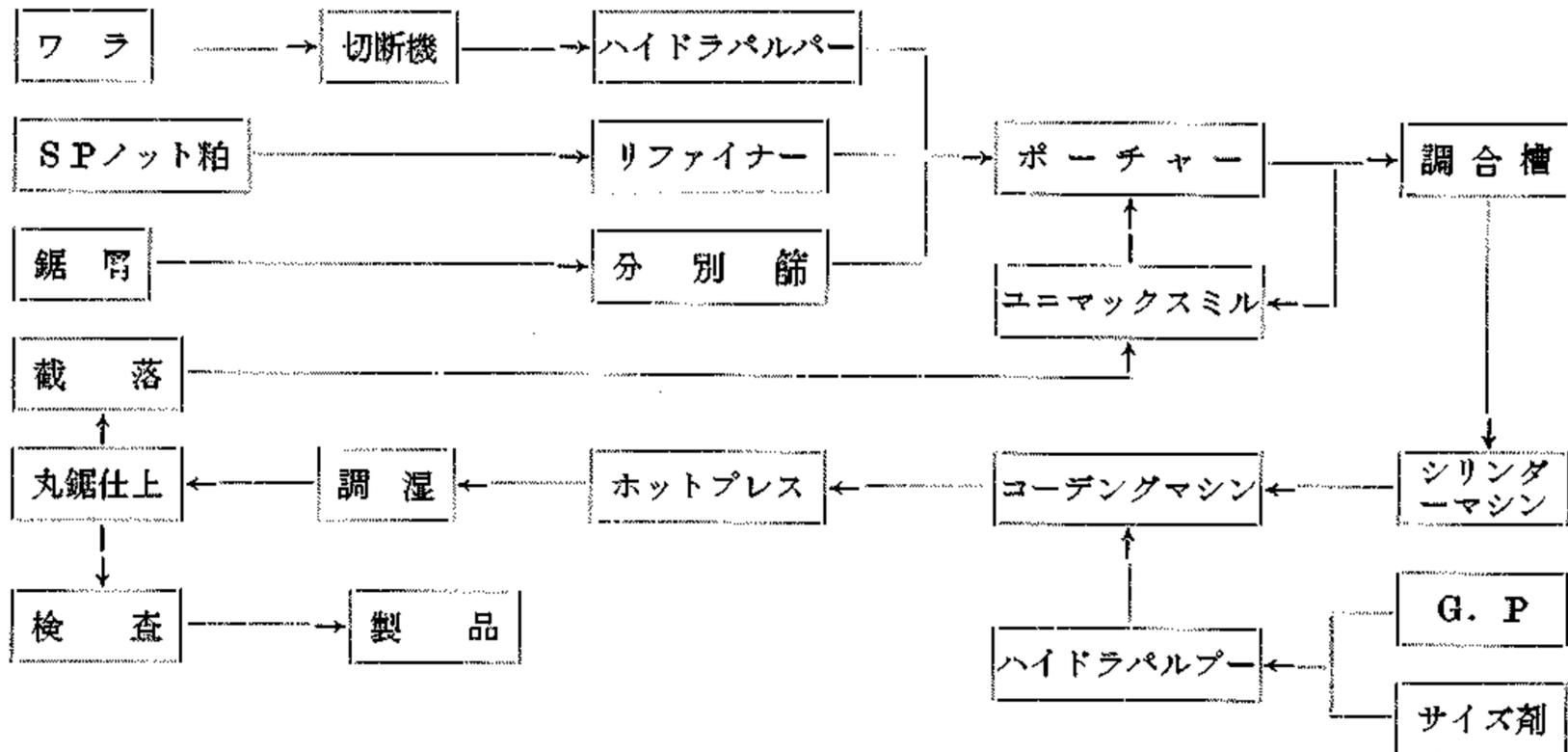
各種の繊維板は夫々の特性があり、その特性を生かして凡ゆる近代建築物に使用されて居ります。

ツルテックスは大戦中に軍の要請に依り軟質繊維板

として製造されました。然し戦後は湿式法に依る半硬質繊維板として現在年間 180,000坪を生産致して居ります。

次にツルテックスの製法及び特徴を説明致します。

製法



特性

ツルテックスの物理的特性は次の通りであります。

品種	比重	含水率 %	曲げ強度 kg/cm	吸湿率 %	伸縮度 %	備考
SHB	0.6~0.7	9~11	50~80	17~19	0.02~0.03	茶褐色
HB	0.6~0.7	9~11	80~100	17~19	0.02~0.03	クリーム色

(SHBはJISI種3号にHBはJISI種2号に合格)

ツルテックスは以上述べた様に半硬質繊維板でありますので、硬質繊維板と軟質繊維板の有つ特性を半々に有って居ります。

即ち伸縮性は硬質繊維板に比べて小さく又重量(比重)が軽く(小さく)なっています。この特性は使

用の場合の調湿操作が簡単であり施工後の歪が少なくなる効果を産むて居ります。

又軟質繊維板に比べますと強度の点で遙かに優り表面の硬度、光沢に於て優れて居りますので塗装が省け施工時の取扱いが便利であります。

1. ツルテックスの防水テックスは吸水率20%~25% 強度 80~100kg/cm² になって居りますので雨漏り等で汚みの出る様なことはありません。
2. ツルテックスの網目テックスは防音、保温の特性が大で然も表面網目がクリーム色でありますので内壁用に或は天井材料としても最適であります。
3. ツルボードは表面に特殊加工が施された製品で茶褐色の地色に濃褐色の模様があり防水され吸水率20%以下比重0.8強度 90~100kg/cm² の特性を有って居ります。洋室の腰掛或は台所の壁板には落

着いた渋味のある色彩で塗装を必要とせず多く利用されて居ります。

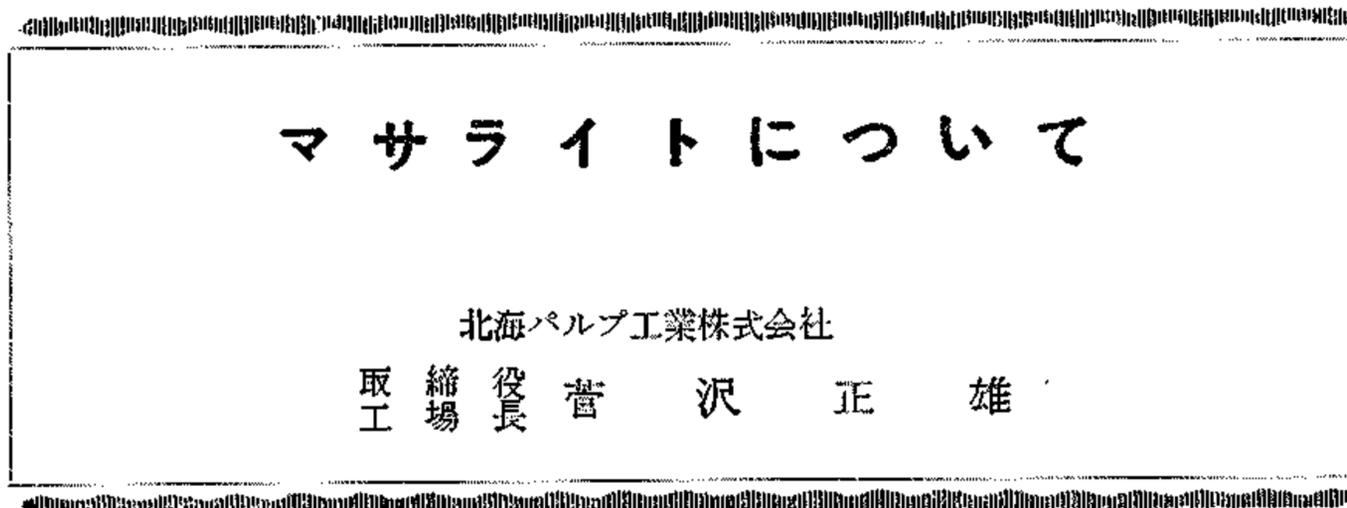
用途

事務室、住宅の内壁天井用
 学校、劇場の防音壁用
 商店、洋間の装飾用

講堂、教室の温度調節用
 工場の遮音、間仕切用
 教室の黒板掲示板用
 日本間の畳下床用

施工

一般繊維板と変わりありません。



1. 緒 言

我国に於ても硬質繊維板の特質が高く評価され、各界の研究と努力とによって益々発展進歩してあります時、当社に於ても、私の長年月に亘る研究と、未利用資源である笹竹の種々の特質を生かして建築材料及他の有用な材料にしたいとの念願に着目し、こゝに工業化の運びに至り製品を市場に出せる段階になりました。

これが今日に至りましたことは、各界の御援助と、北海道林業指導所の格別の御指導と御協力をいただきましたことを深く感謝致す次第であります。

又今回はマサライトについての概要を説明致す機会の得ました事を慶びと致します。

2. マサライトの原料について

マサライトは原料として木材を全然使用しないで、野生して居ります笹竹を 100%の原料としております。笹竹は現在、その利用度が殆んどないものであります。笹竹が北海道に叢生している面積は 188万町歩と推定されておりますが、開拓や植林のためには障害物とさえ言われております。

しかし笹竹は次の様な組成を有しております。

笹の組成 (元北大教授福山伍郎氏発表)

	アルコール ベンゼン 可溶物	水可溶 物	1% 苛性ソー ダ可溶物	セルロー ーズ	Fセルロ ーズ
稈部	5.71%	7.33%	22.35%	52.98%	39.71%
葉部	10.50%	6.66%	37.35%	34.76%	24.11%

	リグニン	ペントサ ン	灰 分	硅 酸
稈部	23.34%	18.01%	1.74%	0.54%
葉部	7.31%	18.66%	9.10%	5.03%

3. マサライト製法の概要について

北海道各地に産する笹竹を原料として硬質繊維板を製造する技術につきましては、昭和27年8月に製法専売特許第195455号によりまして登録いたしました。その製法の概要を述べますと

本法はセミケミカル法によるパルプ化工程を経て湿式硬質繊維板を製造します。

笹竹を約4cmにチップしたものを蒸煮罐に入れ稀硫酸で常圧で約4時間煮沸し軟化を行い解繊機でパルプ化したものを洗滌します。洗滌されたパルプはPH値及濃度調整を行い抄造機で含水70%の厚さ約14mmのウェットパルプとして一定寸法に切断し4尺×8尺、15段のホットプレスに搬入、蒸気圧力10kg/cm²(成型温度約170°C) プレス圧力14kg/cm²で約15分間で板状に成型します。成型した板は平衡含水率約8%まで

ツルテックスに就いて
東北テックス株式会社

現在我が国で製造されて居ります繊維板には硬質、半硬質及び軟質の三種類があります。各種の繊維板は夫々の特性があり、その特性を生かして凡ゆる近代建築物に使用されて居ります。

ツルテックスは大戦中に軍の要請に依り軟質繊維板として製造されました。然し戦後は湿式法に依る半硬質繊維板として現在年間 180,000 坪を生産致して居ります。

次にツルテックスの製法及び特徴を説明致します。

製 法

特性

ツルテックスの物理的特性は次の通りであります。

(SHB は JISI 種 3 号に HB は JISI 種 2 号に合格)

ツルテックスは以上述べた様に半硬質繊維板でありますので、硬質繊維板と軟質繊維板の持つ特性を半々に持って居ります。

即ち伸縮性は硬質繊維板に比べて小さく又重量(比重)が軽く(小さく)なって居ります。この特性は使用の場合の調湿操作が簡単であり施工後の歪みが少なくなる効果を生むで居ります。

又硬質繊維板に比べますと強度の点で遙かに優り表面の硬度、光沢に於いて優れて居りますので塗装が省け施工時の取扱いが便利であります。

1. ツルテックスの防水テックスは吸水率 20~25%、強度 80~100kg/cm² になって居りますので雨漏り等で汚みが出る様なことはありません。
2. ツルテックスの網目テックスは防音、保温の特性が大で然も表面網目がクリーム色でありますので内壁用に或は天井材料としても最適であります。
3. ツルボードは表面に特殊加工が施された製品で茶褐色の地色に濃褐色の模様があり防水され吸水率 20%以下比重 0.8 強度 90~100kg/cm² の特性を有って居ります。洋室の腰掛或は台所の壁板には落

着いた渋味のある色彩で塗装を必要とせず多く利用されて居ります。

用途

事務室、住宅の内壁天井用

学校、劇場の防音壁用

商店、洋間の装飾用

講堂、教室の温度調節用

工場の遮音、間仕切用

教室の黒板掲示板用

日本間の畳下床用

施工

一般繊維板と変わりありません。